

2026年1月29日

日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2026年1月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに回復している。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。観光は増加している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は回復している。設備投資は製造業を中心に増加している。

生産は増加している。雇用・所得環境は改善している。消費者物価指数の前年比は2%台後半となった。

先行きについては、企業の人手不足感の強まりと賃金・価格設定行動のほか、国内外の経済物価情勢や金融為替市場の動向、金利環境の変化が企業・家計に及ぼす影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。財消費、サービス消費ともに、緩やかに回復している。

11月の商業動態統計は、前年を上回った。12月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、増加している。

11月の主要ホテル・旅館宿泊者数は、前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

11月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、回復している。

12月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、製造業を中心に増加している。

2025年度の設備投資（2025年12月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

11月の建築物着工床面積は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、弱めの動きとなっている。造船は、増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

11月の有効求人倍率は、1.04倍となった。10月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

12月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、2%台後半となった。

5. 金融

11月の総預金は前年を下回った一方、貸出金は前年を上回った。

6. 企業倒産

12月の県内企業倒産(負債総額10百万円以上)をみると、件数は前年を上回った一方、負債総額は前年を下回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2025年12月公表分）	今回（2026年1月公表分）
景気全体 （据え置き）	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
個人消費 （据え置き）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。
観光 （据え置き）	増加している。	増加している。
住宅投資 （据え置き）	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
公共投資 （据え置き）	回復している。	回復している。
設備投資 （据え置き）	製造業を中心に増加している。	製造業を中心に増加している。
生産 （据え置き）	増加している。	増加している。
雇用・所得 （据え置き）	改善している。	改善している。

（注）下線は、前回からの変更・追加。